

武生中央公園再整備計画

～市のセントラルパークとして、老若男女が憩う・遊ぶ・見る・学ぶ・楽しむことのできる空間の形成～

かこさとし氏監修

武生中央公園をもっともっと楽しく！

武生中央公園を子どもたちの創造力や探究心を育み、「ワクワク・ドキドキ」の体験ができる空間として整備し、利活用をはかる。

《基本コンセプト》

- (1) 次世代の人が育つ空間
- (2) 絵本の世界を映し出す空間
- (3) 地域活性化の核となる空間

《基本コンセプトからの具体的な展開》

(空間のあり方)

(1) 次世代の人が育つ空間

・かこさとし氏の作品を通し、子育てにかかわる豊かな文化を親子が共に体験し、学ぶ機会を得ることができる空間として整備を行う。

(2) 絵本の世界を映し出す空間

・公園利用者が、かこさとし氏の主要な作品のキャラクターに感情移入したり、ストーリーの展開を想像したりしながら、公園の中を遊び回れる工夫を行う。

(3) 地域活性化の核となる空間

・運営にあたっては、個々の施設毎に多様な利活用を促進し、公園管理者と様々な主体が連携を深めながら行う。

(方針)

(1) 次世代の人が育つ空間

- ・大人との関わりの中で外遊びの機会を創出していくための環境を整える。
- ・科学を学べる環境を整える。
- ・落ち葉やたねのあそびに関連付けた植栽を施し、伝承遊びを学べる環境を増やす。
- ・先人や歴史に対する理解と、郷土への愛着を深めてもらう環境を整備する。

(2) 絵本の世界を映し出す空間

・絵本の世界に入り込んだような世界を再現し、魅力を引き出すことを基本に、多面的な空間の演出を図る。

(3) 地域活性化の核となる空間

- ・市民活動の拠点となる公園づくりを行う。
- ・全国で唯一のかこさとし氏監修の公園として、上記の方針を具体化する。

☆3つの空間を重ね合わせ、空間形成をはかる

《整備概略図(案)》



花畑と絵本「きれいなかさざり たのしいまつり」のモミの木のシンボルツリー
 《花木》 クローバ、レンゲ等
 《行動》 花育
 《樹木》 常緑針葉樹
 《行動》 クリスマスの飾り



テーマ: 絵本「からすのパンやさん」第13場面 からすのパンやさんの入口/オブジェをコンビネーション遊具で表現
 © 1973 かこさとし 信成社



テーマ: 絵本「だるまちゃんとかみなりちゃん」P16/オブジェを遊具: ふわふわマウンテンで表現
 © 1968 かこさとし 福音館書店



キャラクター遊具を配置(イメージ)

彩りを添え明るい木陰を形成する落葉樹
 《樹木》 落葉広葉樹
 《行動》 親子読み聞かせ、紙芝居、ネイチャーゲーム



テーマ: 絵本「あそびずかん」P12、13/きれいな落ち葉や、カエデのたねを使った伝承遊びを学べる紙芝居舞台型サインを配置
 © 2014 かこさとし 小峰書店



「紙芝居舞台」看板イメージ



かこさとし氏から寄贈いただいた絵画を、市文化センター西側壁面に壁画として表現し、武生中央公園の再整備のシンボルとする。
 © 2016 かこさとし



テーマ: 絵本「こどもの行事 しぜんと生活」/たこあげ、羽根つき、コマ回し等の外遊びができる自由遊びスペースを整備
 © 2011 かこさとし 小峰書店



テーマ: 絵本「人間」P14/生命の歴史を知る/オブジェ等で表現
 © 1995 かこさとし 福音館書店



© 1968 かこさとし 福音館書店